

1. 留学生指導及び受入れ・派遣支援報告 (2014年4月～2015年3月)

副島 健治

バハウ・サイモン・ピーター

1 はじめに

富山大学留学生センター(1999年4月1日設置)が改組されて、2013年10月1日に国際交流センターと名称を変え、それまでのように富山大学に在籍する外国人留学生に対する日本語教育などの指導をするというだけでなく、外国人留学生と日本人学生との交流、地域との交流、富山大学の学生を海外に送り出すなど、センターの機能と役割が拡大した意味合いを持つように位置付けられた。2014年4月～2015年3月において、以下のような活動を行ったことを報告する。

1. 外国人留学生に対する修学・研究上、生活上及び異文化適応上の指導・助言
2. 富山大学の学生の海外留学にかかる支援
3. 異文化間理解教育にかかる活動
4. 外国人留学生と日本人学生の交流推進にかかる活動
5. 地域社会との協力、連携にかかる活動
6. 外国人留学生の日本での留学生活に関わる各種情報の提供、地域交流団体等が主催する行事の案内

2 外国人留学生に対する修学・研究上、生活上及び異文化適応上の指導・助言および、富山大学の学生の海外留学にかかる支援

コンサルテーションアワーを毎週水曜日に設定し、富山大学で学ぶ外国人留学生、海外留学を目指す学生への指導・助言を行った。また、水曜日以外においても、学生の事情を考慮し相談を受け付けた。相談内容によって、必要があれば、各学部、留学支援チームや「学生なんでも相談窓口」等と連携して対処した。

件数：86件

内訳：外国人留学生に対する指導・助言(50件)、日本人学生に対する指導・助言(28件)、

その他(富山大学教職員、卒業生、地域住民等からの相談)(8件)

海外留学相談については、センター内に「留学情報資料室」を設置して海外留学を希望する学生に情報の提供を行うとともに、海外への留学を希望する学生の留学にかかる相談にのっており、のべ面談回数は200回以上であった。

相談における主な希望留学先は、カナダ、アメリカ、イギリス等の英語圏諸国、ロシア、フランス、ドイツ、ノルウェー、チェコなどであった。

相談者の内訳は以下の通りである。

相談者数：28人

内訳：人文学部(9人)、人間発達科学部(5人)、経済学部(5人)、理学部(3人)、

工学部(4人)、医学部(1人)、理工学教育部(理)(1人)

3 異文化間理解教育にかかる活動および外国人留学生と日本人学生の交流推進にかかる活動

(1)「日本事情」教育

日本語研修コースの学生を対象に「日本事情」の授業を実施したが、協定校からの交換留学生も参加した。また、日本人学生も授業のサポートに入り、留学生と日本人学生との合同授業の様相をなした。

授業は、教師を含む授業参加者相互の対話型(インターアクティブ)の形態をとっている。したがって、学生の文化背景と、日本あるいは日本以外の国の文化との異なる点および類似性の両方を、留学生自身の視点を通して、認識するとともに、その違いを理解し、日本(あるいは富山)での学修や生活に活かしていけるようにすることが目的である。

また、その授業の経緯の中で前述の日本人学生のサポートもあって、留学生の日本語学習が促進されていくという効果もあり、活発な授業活動が行なわれた。

(2) スタディ・エクスカージョン

前期と後期に各1回、日本文化への理解を深めるとともに、外国人留学生と日本人学生との交流を目的として、スタディ・エクスカージョンを実施している。

・前期のスタディ・エクスカージョン

<実施日・見学場所>

2014年6月20日(金)

五百羅漢・富山市民俗民芸村

<参加者数>

外国人留学生 22人

日本人学生 4人

センター教員およびスタッフ 5人

合計：31人

・後期のスタディ・エクスカージョン

<実施日・見学場所>

2014年11月21日(金)

五百羅漢・富山市民俗民芸村

<参加者数>

外国人留学生 16人

日本人学生 5人

センター教員およびスタッフ 5人

合計：27人



(2014年6月20日(金) 民俗民芸村にて)

スタディ・エクスカージョン後にアンケートを実施した。アンケートの結果を見ると、参加学生の満足度は高く、この企画が大変好ましく受け止められていることが分かった。

(3) ホームビジットとホームステイ

センターの日本語研修コースで学ぶ留学生を対象として、日本の家庭に滞在し異文化体験をさせるために、ホームビジットまたはホームステイを実施している。例年、ホームビジットは富山市民国際交流協会(以下、「TCA」とする。)の協力と斡旋、ホームステイは公益財団法人とやま国際センター(以下、「TIC」とする。)の協力と斡旋により実現している。また2014年度後期は日本語研修コースの人数がやや多かったため、富山県婦翔会のホームステイ受け入れの協力を賜わり実現することが出来た。

ホームビジットまたはホームステイのいずれかを体験するかは日本語研修コースに所属する留学生の希望に基づいている。2014年度は、前期・後期とも全員がホームステイを希望した。

ホームステイの実施に当たっては、その事前指導と事後指導を行った。

実施日・参加者数

前期のホームステイ

<日時・参加者数>

2014年6月7日(土)～8日(日)[1泊2日] 4人(日本語研修コース30期生)

事前指導:6月1日(月)14:45 場所:国際交流センター2階 講義室2

事後指導:6月13日(金)14:45 場所:国際交流センター2階 コンピュータ室

後期のホームステイ

<日時・参加者数>

2014年12月13日(土)～14日(日)[1泊2日] 8人(日本語研修コース31期生)

事前指導:12月8日(月)15:15 場所:国際交流センター2階 コンピュータ室

事後指導:12月15日(月)14:45 場所:国際交流センター2階 コンピュータ室

プログラム終了後、学生は活動報告書を提出するとともに、ホストファミリーにお礼の手紙を書いた。

(4) 外国人留学生と日本人学生の交流のためのパーティー

センターの談話室は外国人留学生と日本人学生が昼食を食べながら語り合うなど、日常的な交流の場となっている。加えて、外国人留学生と日本人学生の交流を目的とし留学生、日本人学生及び教職員有志による料理の持ち寄りで下記のような企画を実施した。

<日時・参加者数>

ウェルカムパーティ 2014年10月10日(金)15:30～17:30 30人

Year-End Party 2014年12月17日(水)15:30～17:30 30人

(5) 料理交流会

富山大学で学ぶ外国人留学生および日本人学生が主体となって、国際交流センター1階の談話室において、お互いの国の料理を紹介し合い、それらを試食して交流した。4回実施した。

第1回 2014年5月16日(金)15:30～18:00

ホンジュラスからの留学生によるホンジュラス料理(トルティーヤ)の紹介

第2回 2014年6月11日(水)15:30～18:00

スペインからの留学生によるスペイン料理(パエリア)の紹介

第3回 2014年7月9日(水)15:30～18:00

国際交流サークル「パートナーズ」による日本のお好み焼きの紹介

第4回 2014年11月26日(水)15:30～17:30

ペルーからの留学生によるペルー料理(ロモ・サルタード)の紹介

(6) V-cubeの活用による高岡キャンパスとの学内交流

国際交流センターの教員が高岡キャンパスへ出向いて機材をセッティングし、お昼休みの時間を利用してV-cube(ウェブテレビ会議システム)による双方向の情報交換会、交流を行った。

・前期

<実施期間・時間・場所>

毎週水曜日(2014年6月4日(水)～7月23日(水))12:15～12:45

五福キャンパス:国際交流センター談話室

高岡キャンパス:A棟1F 学務室内

・後期

<実施期間・時間・場所>

毎週木曜日（2014年10月23日（木）～2015年1月28日（木））12:15～12:45

五福キャンパス：国際交流センター談話室

高岡キャンパス：A棟1F 学務チーム事務室横

4 地域における異文化理解教育等への協力

(1) 地域における各種行事への協力

県内の教育機関で行われている異文化理解教育、自治体や公的機関等が主催する国際交流行事、地域の各種団体等が主催するその他の行事等において、その要請に基づき、講演や参加依頼・協力依頼があった場合は、教員あるいは留学生が協力をしている。

平成26年度センター教員が参加・協力した主な国際交流行事

国際交流行事	期日	主催団体	内容
ライオンズクラブ例会での講演	5月19日（月）	滑川有恒ライオンズクラブ	講演
3年人文社会科学科英語ゼミ特別講座	6月9日（月）、6月16日（月）、 6月23日（月）	富山県立高岡高校	講師
ルンビニ園児との田植え体験	6月7日（日）	富山ライオンズクラブ	参加
平成26年度富山市民大学講座	7月11日（金）	富山市教育委員会	講師
平成26年度とやま国際塾	7月19日（土）	公益財団法人とやま国際センター	講師
ルンビニ園児との稲刈り体験	10月26日（日）	富山ライオンズクラブ	参加
平成26年度富山市民大学閉講式	2015年2月18日（水）	富山市教育委員会	参加

また、学生が参加協力した国際交流団体および行事内容については、本誌の「平成26年度外国人留学生と地域との交流状況」を参照されたい。

(2) 自治体等との連携

国際交流センターと関係諸団体との連携と協力関係はたいへん重要であり、そのような意味において、必要に応じて連絡を取り合っている。特に2014年度は今後の協力関係をさらに構築するため以下の機関を訪問し、富山大学国際交流センターの説明、意見交換等を行った。

2014年5月1日（木） 13:30 富山県観光・地域振興局 国際・日本海政策課

同日 15:00 （公財）とやま国際センター

2014年5月16日（水） 13:00 富山市民国際交流協会

同日 14:00 （公財）とやま国際センター

2014年6月24日（火） 10:30 富山県立ふるさと支援学校

2015年2月25日（水） 10:00 射水市国際交流協会

同日 13:00 高岡市国際交流センター

5 各種情報の提供

全学の留学生を対象に、留学生活に関わる情報を提供し、地域の交流団体等が主催する行事等の案内をセンターの談話室に掲示している。

6 オリエンテーション

(1) 学部新入留学生のためのオリエンテーション

学部教職員や学生支援グループ等の協力により、各部局のオリエンテーションとは別に、学部新入留

学生を対象としたオリエンテーションを実施した。また、大学院生も希望すれば参加できることとした。

<実施日時・場所>

2014年4月2日(水) 9:30~13:45 富山大学学生会館2階 多目的利用室3~5

<参加者>

新入留学生: 17人(うち大学院生3人)

教職員(国際交流センター教員, 学部教職員, 学務部職員(留学支援チーム・学生支援チーム))

<オリエンテーションの主な内容>

- ・ガイダンス 1 授業料, 授業料免除, 奨学金等についての説明
- 2 国際交流センターからの注意事項(危機管理等)
- 3 学部教職員からの注意事項(大学生活の心得, 除籍・懲戒・退学・休学, チューター制度, アルバイト等)
- 4 キャンパスツアー
- ・懇親会(昼食)

(2) 新規来日非正規生(研究生, 科目等履修生, 特別聴講学生)のためのオリエンテーション

学部留学生(正規生)のオリエンテーションとは別に, 研究生, 科目等履修生, 特別聴講学生を対象としたオリエンテーションを実施した。

<実施日・場所・参加者数>

2014年4月10日(木) 共通教育棟4階 A43教室 5人

2014年10月8日(水) 共通教育棟4階 A34教室 28人

<オリエンテーションの主な内容>

- ・学内・学外における諸手続きについて
- ・学生生活について
- ・留意事項・危機管理について

(3) 学部新入生のための時間割作成オリエンテーション

入学後間もない学部新入留学生のために, 時間割作成の支援として, 学部ごとの先輩の留学生が各新入留学生に履修の仕方を個別にアドバイスするという形式でオリエンテーションを実施した。

<実施日・場所>

2013年4月9日(水) 17:40~19:00 共通教育棟1階 C11教室

<参加者数>

新入留学生 10人, 協力した先輩留学生 10人

7 その他

国際交流の学生団体への助言

富山大学の国際交流の学生団体(名称「partners」)の活動への助言を行った。

8 おわりに

富山大学には346人(2014年5月1日現在)の外国人留学生が在籍しており, 留学生たちがより良い環境の中で安心して留学生活を送ることができるように, 本学の関係者および学外の自治体をはじめとする諸団体, あるいは地域の方々の暖かい協力と支援を頂いている。まずは, この誌面をかりて感謝の意を表したい。

また, 冒頭に述べたが, 1999年4月に設置された富山大学の留学生センターは2013年10月に国際交

流センターとその名称を変え、それまでの外国人留学生に対する日本語・日本事情教育、修学上および生活上の指導助言などを行うという役割だけでなく、外国人留学生と日本人学生との交流、地域との交流、富山大学の学生の海外への送り出しなど、その役割は拡大した意味合いを持つように位置付けられた。これからのセンターの教員、スタッフに課せられたミッションはそれを踏まえたものであることは間違いないであろう。そのことを踏まえた上で、センターの教員とスタッフ全員が業務にかかる共通理解をはかり、富山大学の各部局および自治体をはじめとする地域との連携をはかりながら、今後の一層の努力をしていくことが求められていると言えよう。